

在宅医療に係る医療機能の 把握のための調査

訪問看護ステーション

令和8年度
岡 山 県

目 次

I 調査概要	1
1 調査の概要	1
(1)調査目的	1
(2)調査方法	1
(3)回収結果	1
(4)報告書の見方	1
II 調査結果	2
1 調査結果の概要	2
2 基本情報	3
(1)サービス種別	3
(2)所在地	4
(3)訪問看護対応市町村	6
(4)施設基準の届出状況	7
3 人員体制	9
(1)看護職員数	9
(2)看護職員常勤換算数	9
(3)医療的ケア児の訪問担当看護職員数	10
(4)専門性の高い看護師	11
(5)専門看護師	11
(6)特定認定看護師(B 過程認定看護師)	12
(7)認定看護師(A 過程認定看護師)	12
(8)特定行為研修修了者	13
(9)精神科訪問看護担当職員数	15
(10)療法士数	16
(11)看護補助者数	17
(12)介護支援専門員(実務者)数	17
(13)相談支援専門員数	18
(14)医療的ケア児等コーディネーター数	18
4 日常の療養支援	19

5 緊急時の訪問看護	25
(1)24 時間対応体制加算(訪問看護管理療養費) 実算定者数	25
(2)緊急訪問看護加算(医療保険) 実算定者数	25
(3)緊急時訪問看護加算Ⅰ(介護保険) 実算定者数	26
(4)緊急時訪問看護加算Ⅱ(介護保険) 実算定者数	26
(5)緊急訪問看護加算(医療保険) 算定回数(延べ算定数)	27
(6)緊急時訪問看護加算Ⅰ(介護保険) 算定回数(延べ算定数)	27
(7)緊急時訪問看護加算Ⅱ(介護保険) 算定回数(延べ算定数)	28
6 退院支援	29
(1)退院支援の実施状況	29
(2)退院支援の令和8年1月の1か月間の実算定者数	30
7 看取り	31
(1)看取り実施状況	31
(2)看取りを実施した実利用者数	32
8 訪問看護の多機能化、地域連携の状況	33
(1)居住系施設・通所介護との委託契約数	33
(2)遠隔死亡診断補助加算算定のための研修受講者	33
(3)会議・地域の多職種連携への ICT 活用	34
(4)訪問看護情報提供療養費実算定者数	35

I 調査概要

1 調査の概要

(1)調査目的

医療機関ごとの訪問診療の実施可能件数や訪問診療への参入意向等について実態調査を行い、在宅医療の現状を把握する。調査結果については、令和 8 年度に実施する第9次岡山県保健医療計画の中間評価に際し、現状を把握するための指標とする。

(2)調査方法

- 1) 調 査 地 域 岡山県内全域
- 2) 調 査 対 象 者 訪問看護ステーション 259 か所
- 3) 調 査 方 法 郵送配布、郵送または web による回答
- 4) 調 査 期 間 令和 8 年 1 月 30 日～令和 8 年 3 月 12 日

(3)回収結果

	回収数		回収率
	調査票回答 49	169	65.3%
訪問看護ステーション	Web 回答 120		

(4)報告書の見方

- ・本文及び図中に示した調査結果の数値は百分比(%)で示してある。これらの数値は小数点以下第2位を四捨五入しているため、全項目の回答比率の合計が 100%とならない場合がある。
- ・図表中の「n」は number of cases の略で、回答数総数または分類別の回答者数を示す。各比率はnを 100%として算出している。
- ・複数の回答を求めた質問では、回答比率の合計が 100%を超えることがある。
- ・表内において、**上位1位**、**上位2位**、**上位3位** には色付けをしている。
- ・クロス集計の分析軸(表側項目)は不明・無回答があるため、分類ごとのn数を合計しても全体のn数と一致しないことがある。

Ⅱ 調査結果

1 調査結果の概要

◆ 専門性の高い人材の把握について(p.11～18)

専門性の高い看護師の有無について、全体の 8.9%が「有」と回答した。保健医療圏別にみると、県南東部保健医療圏と県南西部保健医療圏でのみ、専門性の高い看護師の有無について「有」との回答があった。専門性の高い人材の詳細について、認定看護師(A 過程認定看護師)や特定行為研修終了者、精神科訪問看護担当職員、療法士等の配置を問うたが、専門性の高い人材が配置されている訪問看護ステーションは少数であることがわかった。

◆ 緊急時の訪問看護について(p.25～28)

24 時間対応体制加算(訪問看護管理療養費)実算定者数について、「6～10 人」との回答が最も多かった。保健医療圏別にみると、県南東部保健医療圏、県南西部保健医療圏では、実算定者数が比較的多くなっているが、その他の地域では「1～5人」や「6～10 人」がほとんどであった。

◆ 退院支援の実施状況について(p.29～30)

退院支援の実施状況について、約半数が実施していた。保健医療圏別にみると、県南東部保健医療圏・県南西部保健医療圏で実施度が高くなっていた。令和8年1月の1か月間における退院支援について、「退院時共同指導加算(介護保険)」「退院時共同指導加算(医療保険)」「特別管理指導加算(医療保険)」「外泊時訪問看護」「退院時支援指導」のそれぞれの実算定者数を問うたが、「1人」との回答が大半を占めていた。

◆ 活用している ICT について(p.34)

会議・地域の多職種連携への ICT 活用について、「有」との回答が全体の 67.5%となっていた。活用している ICT の種類について、「MCS」との回答が最も多く、次いで「LINE」「ケアキャビネット」「カナミック」などの順となっていた。

2 基本情報

(1) サービス種別

【サービス種別】

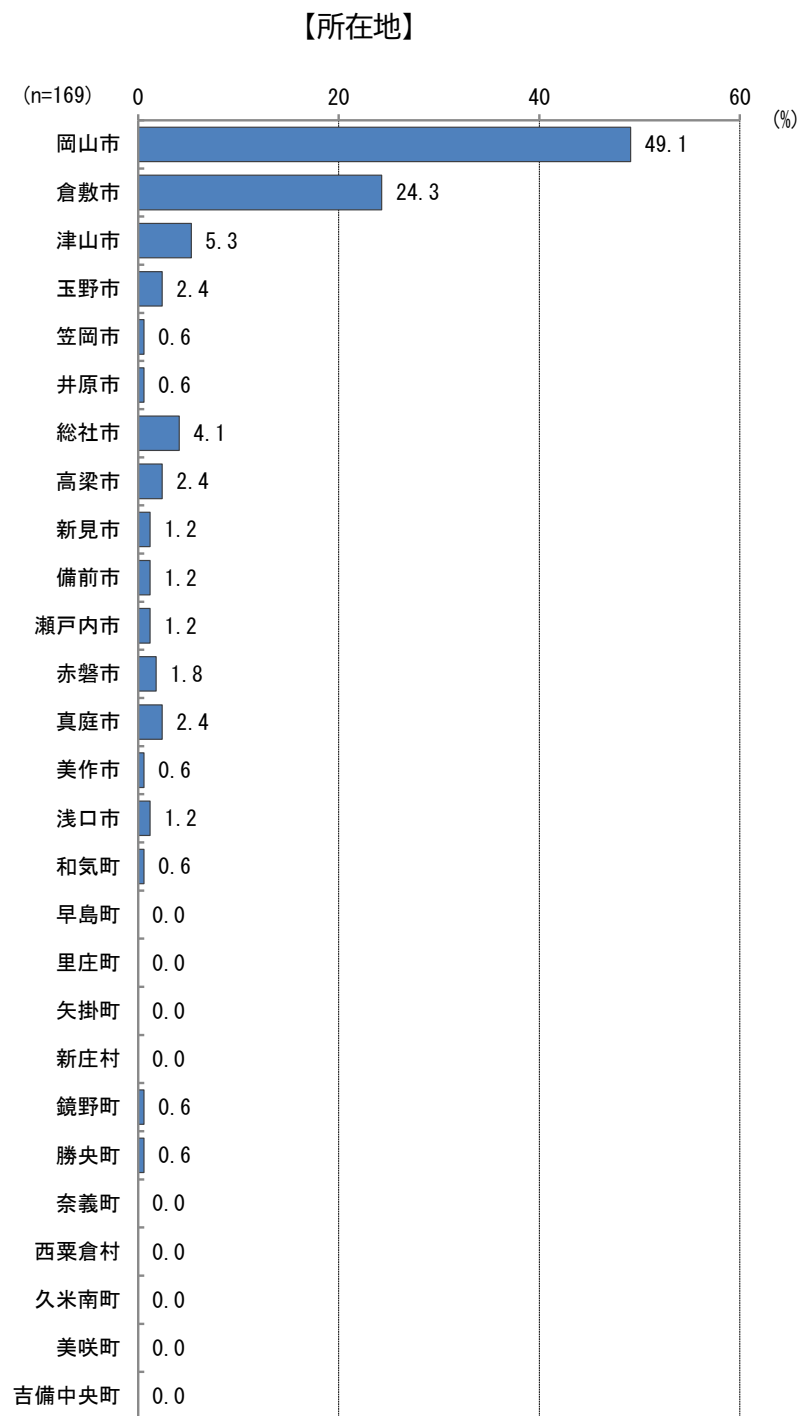
		(%)			
		医療保険による訪問看護	介護保険（予防・介護）による訪問看護	医療保険・介護保険以外の訪問看護	無回答
全体 n= 169		98.8	91.7	14.2	—
保健医療圏別	県南東部保健医療圏 n= 95	98.9	88.4	14.7	—
	県南西部保健医療圏 n= 52	100.0	94.2	17.3	—
	高梁・新見保健医療圏 n= 6	83.3	100.0	16.7	—
	真庭保健医療圏 n= 4	100.0	100.0	—	—
	津山・英田保健医療圏 n= 12	100.0	100.0	—	—

サービス種別について、「医療保険による訪問看護」との回答が98.8%と最も高く、次いで「介護保険による訪問看護（予防・介護）」（91.7%）、「医療保険・介護保険以外の訪問看護」（14.2%）の順となっている。

保健医療圏別にみると、「医療保険による訪問看護」との回答はいずれの保健医療圏でも約10割と高くなっている。「介護保険による訪問看護（予防・介護）」との回答は県南東部保健医療圏で8割台後半、県南西部保健医療圏で9割台半ばとなっている。

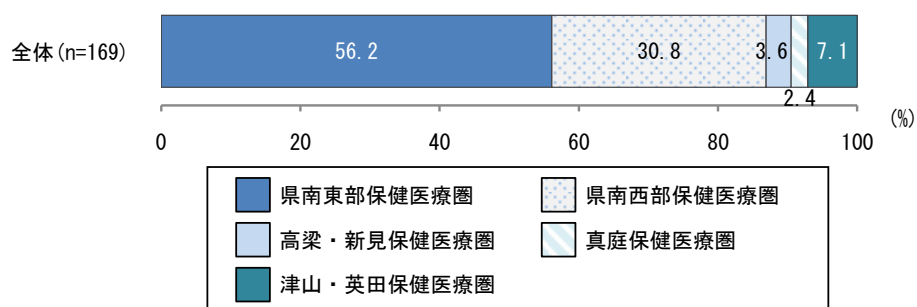
※20人以下の回答者の回答傾向は記述しないこととする（以下同じ）。

(2)所在地



所在地について、「岡山市」との回答が49.1%と最も高く、次いで「倉敷市」(24.3%)、「津山市」(5.3%)、「総社市」(4.1%)などの順となっている。

【保健医療圏】



保健医療圏について、「県南東部保健医療圏」との回答が 56.2%、「県南西部保健医療圏」(30.8%)、「高梁・新見保健医療圏」(3.6%)、「真庭保健医療圏」(2.4%)、「津山・英田保健医療圏」(7.1%) となっている。

(3)訪問看護対応市町村

【訪問看護対応市町村】

		(%)									
		岡山市	倉敷市	津山市	玉野市	笠岡市	井原市	総社市	高梁市	新見市	備前市
全体 n= 169		60.9	39.6	5.9	8.3	2.4	0.6	13.6	3.0	1.2	7.7
保健医療圏別	県南東部保健医療圏 n= 95	95.8	20.0	-	14.7	-	-	4.2	-	-	13.7
	県南西部保健医療圏 n= 52	23.1	92.3	-	-	7.7	1.9	36.5	1.9	-	-
	高梁・新見保健医療圏 n= 6	-	-	-	-	-	-	-	66.7	33.3	-
	真庭保健医療圏 n= 4	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	津山・英田保健医療圏 n= 12	-	-	83.3	-	-	-	-	-	-	-
		瀬戸内市	赤磐市	真庭市	美作市	浅口市	和気町	早島町	里庄町	矢掛町	新庄村
全体 n= 169		10.7	10.7	2.4	3.0	3.6	1.8	4.7	1.8	1.2	-
保健医療圏別	県南東部保健医療圏 n= 95	18.9	18.9	-	1.1	-	3.2	5.3	-	-	-
	県南西部保健医療圏 n= 52	-	-	-	-	11.5	-	5.8	5.8	3.8	-
	高梁・新見保健医療圏 n= 6	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	真庭保健医療圏 n= 4	-	-	100.0	-	-	-	-	-	-	-
	津山・英田保健医療圏 n= 12	-	-	-	33.3	-	-	-	-	-	-
		鏡野町	勝央町	奈義町	西粟倉村	久米南町	美咲町	吉備中央町	無回答		
全体 n= 169		1.8	2.4	0.6	-	-	5.9	2.4	-		
保健医療圏別	県南東部保健医療圏 n= 95	-	-	-	-	-	-	2.1	-		
	県南西部保健医療圏 n= 52	-	-	-	-	-	-	1.9	-		
	高梁・新見保健医療圏 n= 6	-	-	-	-	-	-	16.7	-		
	真庭保健医療圏 n= 4	-	-	-	-	-	25.0	-	-		
	津山・英田保健医療圏 n= 12	25.0	33.3	8.3	-	-	75.0	-	-		

訪問看護対応市町村について、「岡山市」との回答が60.9%と最も高く、次いで「倉敷市」(39.6%)、「総社市」(13.6%)、「瀬戸内市」、「赤磐市」(ともに10.7%)などの順となっている。

(4)施設基準の届出状況

【医療保険に基づく施設基準の届出】

		(%)										
		イ 24 時間対応体制加算	ロ 24 時間対応体制加算	特別管理加算	専門管理加算	養精神科訪問看護基本療養費	機能強化型訪問看護管理療養費 1	機能強化型訪問看護管理療養費 2	機能強化型訪問看護管理療養費 3	遠隔死亡診断補助加算	訪問看護医療 DX 情報活用加算	無回答
全体 n= 169		60.9	33.7	87.0	8.3	62.1	3.0	1.2	1.8	2.4	47.9	1.8
保健医療圏別	県南東部保健医療圏 n= 95	63.2	29.5	85.3	8.4	64.2	2.1	1.1	2.1	2.1	53.7	2.1
	県南西部保健医療圏 n= 52	57.7	38.5	86.5	11.5	65.4	5.8	—	1.9	1.9	38.5	1.9
	高梁・新見保健医療圏 n= 6	33.3	50.0	83.3	—	66.7	—	—	—	—	50.0	—
	真庭保健医療圏 n= 4	75.0	50.0	100.0	—	25.0	—	—	—	—	—	—
	津山・英田保健医療圏 n= 12	66.7	33.3	100.0	—	41.7	—	8.3	—	8.3	58.3	—

医療保険に基づく施設基準の届出について、「特別管理加算」との回答が 87.0%と最も高く、次いで「精神科訪問看護基本療養費」（62.1%）、「24 時間対応体制加算イ」（60.9%）、「訪問看護医療 DX 情報活用加算」（47.9%）、「24 時間対応体制加算ロ」（33.7%）などの順となっている。

保健医療圏別にみると、「特別管理加算」との回答はすべての保健医療圏で最も高くなっている。「24 時間対応体制加算イ」との回答は県南東部保健医療圏で 6 割台前半、「24 時間対応体制加算ロ」との回答は県南西部保健医療圏で 3 割台後半、「訪問看護医療 DX 情報活用加算」との回答は県南東部保健医療圏で 5 割台前半と高くなっている。

【介護保険に基づく施設基準の届出】

												(%)	
			緊急時訪問看護加算Ⅰ	緊急時訪問看護加算Ⅱ	特別管理加算	専門管理加算	ターミナルケア加算	看護体制強化加算Ⅰ	看護体制強化加算Ⅱ	サ―ビス提供体制強化加算Ⅰ	サ―ビス提供体制強化加算Ⅱ	遠隔死亡診断補助加算	無回答
全体 n= 169			56.2	31.4	83.4	7.7	76.9	3.6	10.7	36.7	10.7	2.4	13.6
保健医療圏別	県南東部保健医療圏 n= 95		56.8	28.4	81.1	7.4	70.5	4.2	5.3	28.4	7.4	2.1	15.8
	県南西部保健医療圏 n= 52		55.8	34.6	84.6	11.5	84.6	1.9	11.5	36.5	15.4	1.9	11.5
	高梁・新見保健医療圏 n= 6		33.3	33.3	66.7	－	66.7	－	16.7	66.7	－	－	33.3
	真庭保健医療圏 n= 4		50.0	50.0	100.0	－	75.0	－	50.0	75.0	25.0	－	－
	津山・英田保健医療圏 n= 12		66.7	33.3	100.0	－	100.0	8.3	33.3	75.0	16.7	8.3	－

介護保険に基づく施設基準の届出について、「特別管理加算」との回答が83.4%と最も高く、次いで「ターミナルケア加算」(76.9%)、「緊急時訪問看護加算Ⅰ」(56.2%)、「サービス提供体制強化加算Ⅰ」(36.7%)、「緊急時訪問看護加算Ⅱ」(31.4%)などの順となっている。

保健医療圏別にみると、「特別管理加算」との回答はすべての保健医療圏で最も高くなっている。「緊急時訪問看護加算Ⅱ」との回答は県南西部保健医療圏で3割台半ば、「ターミナルケア加算」との回答は県南西部保健医療圏で8割台半ば、「サービス提供体制強化加算Ⅰ」との回答は県南西部保健医療圏で3割台後半と高くなっている。

3 人員体制

(1) 看護職員数

【看護職員数】

看護職員数		(施設)					
		3人以下	4人	5人	6～10人	11人以上	無回答
全体 n= 169		19	31	26	59	23	11
保健医療圏別	県南東部保健医療圏 n= 95	9	15	14	39	14	4
	県南西部保健医療圏 n= 52	5	10	7	16	9	5
	高梁・新見保健医療圏 n= 6	2	1	1	1	—	1
	真庭保健医療圏 n= 4	—	3	—	—	—	1
	津山・英田保健医療圏 n= 12	3	2	4	3	—	—

看護職員数について、「6～10人」との回答が59施設と最も多く、次いで「4人」(31施設)、「5人」(26施設)、「11人以上」(23施設)、「3人以下」(19施設)の順となっている。

保健医療圏別にみると、「6人～10人」との回答は県南東部保健医療圏で39施設、県南西部保健医療圏で16施設と最も多くなっている。

(2) 看護職員常勤換算数

【看護職員常勤換算数】

看護職員 常勤換算数		(施設)				
		3人以下	4～5人	6～10人	11人以上	無回答
全体 n= 169		31	27	37	12	62
保健医療圏別	県南東部保健医療圏 n= 95	17	15	26	8	29
	県南西部保健医療圏 n= 52	8	8	8	4	24
	高梁・新見保健医療圏 n= 6	3	1	1	—	1
	真庭保健医療圏 n= 4	—	—	—	—	4
	津山・英田保健医療圏 n= 12	3	3	2	—	4

看護職員常勤換算数について、「6～10人」との回答が37施設と多く、「3人以下」(31施設)、「4～5人」(27施設)、「11人以上」(12施設)の順となっている。

保健医療圏別にみると、「6～10人」との回答は県南東部保健医療圏で26施設と多くなっている。

(3)医療的ケア児の訪問担当看護職員数

【医療的ケア児の訪問担当看護職員数】

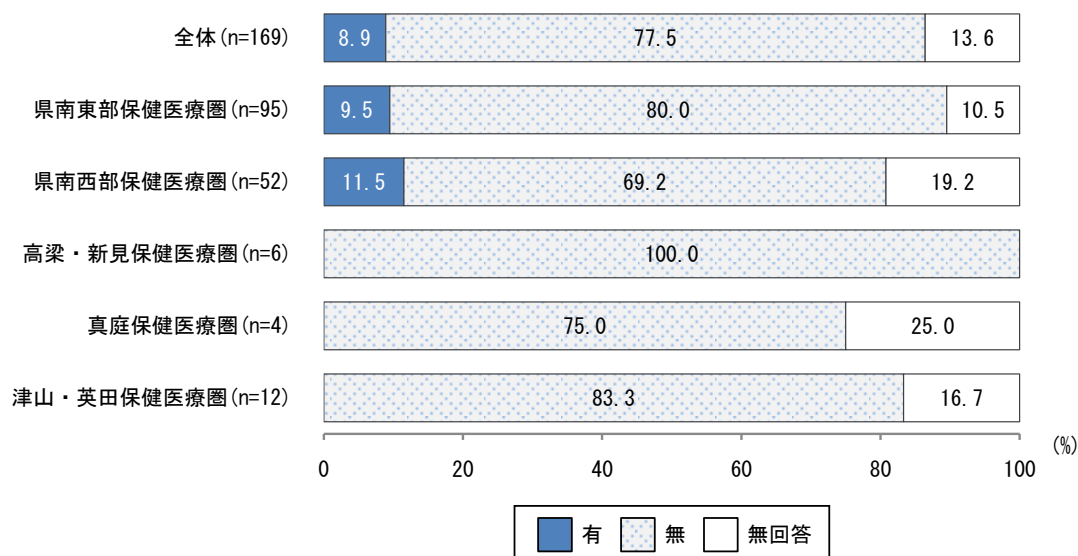
医療的ケア児の 訪問看護職員数		(施設)				
		3 人 以 下	4 ～ 5 人	6 ～ 1 0 人	1 1 人 以 上	無 回 答
全体 n= 169		18	7	14	4	126
保 健 医 療 圏 別	県南東部保健医療圏 n= 95	8	2	6	1	78
	県南西部保健医療圏 n= 52	7	3	7	3	32
	高梁・新見保健医療圏 n= 6	2	—	1	—	3
	真庭保健医療圏 n= 4	—	—	—	—	4
	津山・英田保健医療圏 n= 12	1	2	—	—	9

医療的ケア児の訪問担当看護職員数について、「3人以下」との回答が18施設と多く、「6～10人」(14施設)、「4～5人」(7施設)、「11人以上」(4施設)の順となっている。

保健医療圏別にみると、「3人以下」との回答は県南東部保健医療圏で8施設、県南西部保健医療圏で7施設、「6～10人」との回答は県南東部保健医療圏で6施設、県南西部保健医療圏で7施設となっている。

(4)専門性の高い看護師

【専門性の高い看護師の有無】



専門性の高い看護師の有無について、「有」との回答が8.9%、「無」との回答が77.5%となっている。

保健医療圏別にみると、「無」との回答は県南東部保健医療圏で8割、県南西部保健医療圏で約7割となっている。

(5)専門看護師

【専門看護師数】

		(施設)		
専門看護師数		1人	6人	無回答
全体 n= 15		3	1	11
保健医療圏別	県南東部保健医療圏 n= 9	3	1	5
	県南西部保健医療圏 n= 6	—	—	6
	高梁・新見保健医療圏 n= 0	—	—	—
	真庭保健医療圏 n= 0	—	—	—
	津山・英田保健医療圏 n= 0	—	—	—

専門看護師数について、「1人」との回答が3施設、「6人」(1施設)となっている。

【専門看護師の専門分野】

		(%)	
		がん看護	無回答
全体 n= 15		6.7	93.3
保健医療圏別	県南東部保健医療圏 n= 9	11.1	88.9
	県南西部保健医療圏 n= 6	—	100.0
	高梁・新見保健医療圏 n= 0	—	—
	真庭保健医療圏 n= 0	—	—
	津山・英田保健医療圏 n= 0	—	—

※回答のあった専門分野のみ表示

専門看護師の専門分野について、「がん看護」との回答が 6.7%となっている。

(6)特定認定看護師(B 過程認定看護師)

特定認定看護師 (B 過程認定看護師) がいると回答した訪問看護ステーションはなかった。

(7)認定看護師(A 過程認定看護師)

【認定看護師(A 過程認定看護師)数】

		(施設)			
認定看護師 (A過程認定看護師)		1人	2人	3人	無回答
全体 n= 15		7	1	1	6
保健医療圏別	県南東部保健医療圏 n= 9	3	—	1	5
	県南西部保健医療圏 n= 6	4	1	—	1
	高梁・新見保健医療圏 n= 0	—	—	—	—
	真庭保健医療圏 n= 0	—	—	—	—
	津山・英田保健医療圏 n= 0	—	—	—	—

認定看護師 (A 過程認定看護師) 数について、「1人」との回答が7施設と最も多く、次いで「2人」、「3人」(ともに1施設)となっている。

【認定看護師(A 過程認定看護師)の専門分野】

		(%)						
		皮膚・排泄ケア	緩和ケア	がん性疼痛看護	認知症看護	摂食・嚥下障害看護	訪問看護	無回答
全体 n= 15		33.3	6.7	13.3	6.7	6.7	13.3	40.0
保健医療圏別	県南東部保健医療圏 n= 9	11.1	11.1	22.2	-	11.1	11.1	55.6
	県南西部保健医療圏 n= 6	66.7	-	-	16.7	-	16.7	16.7
	高梁・新見保健医療圏 n= 0	-	-	-	-	-	-	-
	真庭保健医療圏 n= 0	-	-	-	-	-	-	-
	津山・英田保健医療圏 n= 0	-	-	-	-	-	-	-

※回答のあった専門分野のみ表示

認定看護師（A 過程認定看護師）の専門分野について、「皮膚・排泄ケア」との回答が 33.3%と高く、「がん性疼痛看護」、「訪問看護」（ともに 13.3%）、「緩和ケア」、「認知症看護」、「摂食・嚥下障害看護」（いずれも 6.7%）となっている。

(8)特定行為研修修了者

【特定行為研修修了者数】

		(施設)			
特定行為研修修了者		1人	2人	3人	無回答
全体 n= 15		5	-	-	10
保健医療圏別	県南東部保健医療圏 n= 9	3	-	-	6
	県南西部保健医療圏 n= 6	2	-	-	4
	高梁・新見保健医療圏 n= 0	-	-	-	-
	真庭保健医療圏 n= 0	-	-	-	-
	津山・英田保健医療圏 n= 0	-	-	-	-

特定行為研修修了者数について、「1人」との回答が5施設となっている。

【特定行為区分】

		(%)								
		呼吸器（気道確保に係るもの）関連	呼吸器（人工呼吸療法に係るもの）関連	呼吸器（長期呼吸療法に係るもの）関連	腹腔ドレーン管理関連	ろう孔管理関連	栄養に係るカテーテル管理（中心静脈カテーテル管理）関連	創傷管理関連	創部ドレーン管理関連	
全体 n= 15		6.7	6.7	13.3	13.3	20.0	6.7	20.0	6.7	
保健医療圏別	県南東部保健医療圏 n= 9	-	-	11.1	11.1	22.2	11.1	22.2	-	
	県南西部保健医療圏 n= 6	16.7	16.7	16.7	16.7	16.7	-	16.7	16.7	
	高梁・新見保健医療圏 n= 0	-	-	-	-	-	-	-	-	
	真庭保健医療圏 n= 0	-	-	-	-	-	-	-	-	
	津山・英田保健医療圏 n= 0	-	-	-	-	-	-	-	-	
		栄養剤及び水分管理に係るもの	無回答							
全体 n= 15		13.3	66.7							
保健医療圏別	県南東部保健医療圏 n= 9	11.1	66.7							
	県南西部保健医療圏 n= 6	16.7	66.7							
	高梁・新見保健医療圏 n= 0	-	-							
	真庭保健医療圏 n= 0	-	-							
	津山・英田保健医療圏 n= 0	-	-							

※回答のあった専門分野のみ表示

特定行為区分について、「ろう孔管理関連」、「創傷管理関連」との回答がともに 20.0%と高く、「呼吸器（長期呼吸療法に係るもの）関連」、「腹腔ドレーン管理関連」、「栄養及び水分管理に係る薬剤投与関連」（ともに 13.3%）、「呼吸器（気道確保に係るもの）関連」、「呼吸器（人工呼吸療法に係るもの）関連」、「栄養に係るカテーテル管理（中心静脈カテーテル管理）関連」、「創部ドレーン管理関連」（いずれも 6.7%）の順となっている。

(9)精神科訪問看護担当職員数

【精神科訪問看護担当職員数】

精神科訪問看護担当職員数		1人	2人	3人	4人	5人	6～10人	11人以上
全体 n= 110		7	11	24	17	13	26	12
保健医療圏別	県南東部保健医療圏 n= 65	1	9	14	13	6	16	6
	県南西部保健医療圏 n= 35	3	1	6	4	7	8	6
	高梁・新見保健医療圏 n= 4	1	1	2	—	—	—	—
	真庭保健医療圏 n= 1	—	—	1	—	—	—	—
	津山・英田保健医療圏 n= 5	2	—	1	—	—	2	—
うち看護職員数 n= 111		8	14	25	20	11	27	6
保健医療圏別	県南東部保健医療圏 n= 66	2	11	14	12	4	19	4
	県南西部保健医療圏 n= 35	3	2	7	8	6	7	2
	高梁・新見保健医療圏 n= 4	1	1	2	—	—	—	—
	真庭保健医療圏 n= 1	—	—	1	—	—	—	—
	津山・英田保健医療圏 n= 5	2	—	1	—	1	1	—
うち作業療法士数 n= 33		14	11	2	2	1	2	1
保健医療圏別	県南東部保健医療圏 n= 17	7	7	1	—	1	—	1
	県南西部保健医療圏 n= 14	6	3	1	2	—	2	—
	高梁・新見保健医療圏 n= 0	—	—	—	—	—	—	—
	真庭保健医療圏 n= 0	—	—	—	—	—	—	—
	津山・英田保健医療圏 n= 2	1	1	—	—	—	—	—
うち精神保健福祉士数 n= 5		4	1	—	—	—	—	—
保健医療圏別	県南東部保健医療圏 n= 4	3	1	—	—	—	—	—
	県南西部保健医療圏 n= 1	1	—	—	—	—	—	—
	高梁・新見保健医療圏 n= 0	—	—	—	—	—	—	—
	真庭保健医療圏 n= 0	—	—	—	—	—	—	—
	津山・英田保健医療圏 n= 0	—	—	—	—	—	—	—

※無回答を除いて集計

精神科訪問看護担当職員数について、「6～10人」との回答が26施設と最も多く、次いで「3人」(24施設)、「4人」(17施設)、「5人」(13施設)などの順となっている。うち看護職員数は、「6～10人」との回答が27施設と多く、次いで「3人」(25施設)、「4人」(20施設)などの順となっている。うち作業療法士数は、「1人」との回答が14施設と多く、次いで「2人」(11施設)などの順となっている。うち精神保健福祉士数は、「1人」との回答が4施設となっている。

保健医療圏別にみると、精神科訪問看護担当職員数は、県南東部保健医療圏では「6～10人」との回答が16施設と最も多く、次いで「3人」(14施設)、「4人」(13施設)などの順となっている。県南西部保健医療圏では「6～10人」との回答が8施設と最も多く、次いで「5人」(7施設)、「3人」(6施設)などの順となっている。うち看護職員数は、県南東部保健医療圏では「6～10人」との回答が19施設と最も多く、次いで「3人」(14施設)、「4人」(12施設)、「2人」(11施設)などの順となっている。県南西部保健医療圏では「4人」との回答が8施設と最も多く、次いで「3人」、「6～10人」(ともに7施設)、「5人」(6施設)などの順となっている。

(10)療法士数

【療法士数】

療法士数		1人	2人	3人	4人	5人	6～10人	11人以上
全体 n= 90		21	15	10	11	7	16	10
保健医療圏別	県南東部保健医療圏 n= 54	12	8	6	5	6	12	5
	県南西部保健医療圏 n= 29	7	4	2	6	1	4	5
	高梁・新見保健医療圏 n= 2	1	—	1	—	—	—	—
	真庭保健医療圏 n= 0	—	—	—	—	—	—	—
	津山・英田保健医療圏 n= 5	1	3	1	—	—	—	—
うち理学療法士数 n= 75		25	14	14	4	6	11	1
保健医療圏別	県南東部保健医療圏 n= 48	16	10	8	4	3	7	—
	県南西部保健医療圏 n= 24	6	4	6	—	3	4	1
	高梁・新見保健医療圏 n= 0	—	—	—	—	—	—	—
	真庭保健医療圏 n= 0	—	—	—	—	—	—	—
	津山・英田保健医療圏 n= 3	3	—	—	—	—	—	—
うち作業療法士数 n= 64		26	14	10	3	2	5	4
保健医療圏別	県南東部保健医療圏 n= 37	14	9	6	1	2	4	1
	県南西部保健医療圏 n= 20	8	4	3	2	—	1	2
	高梁・新見保健医療圏 n= 2	1	—	1	—	—	—	—
	真庭保健医療圏 n= 0	—	—	—	—	—	—	—
	津山・英田保健医療圏 n= 5	3	1	—	—	—	—	1
うち言語聴覚士数 n= 17		12	2	3	—	—	—	—
保健医療圏別	県南東部保健医療圏 n= 9	7	—	2	—	—	—	—
	県南西部保健医療圏 n= 8	5	2	1	—	—	—	—
	高梁・新見保健医療圏 n= 0	—	—	—	—	—	—	—
	真庭保健医療圏 n= 0	—	—	—	—	—	—	—
	津山・英田保健医療圏 n= 0	—	—	—	—	—	—	—

※無回答を除いて集計

療法士数について、「1人」との回答が21施設と多く、次いで「6～10人」(16施設)、「2人」(15施設)などの順となっている。うち理学療法士数は、「1人」との回答が25施設と多く、「2人」、「3人」(ともに14施設)、「6～10人」(11施設)などの順となっている。うち作業療法士数は、「1人」との回答が26施設と多く、次いで「2人」(14施設)、「3人」(10施設)などの順となっている。うち言語聴覚士数は、「1人」との回答が12施設と多くなっている。

保健医療圏別にみると、療法士数は、県南東部保健医療圏では「1人」、「6～10人」との回答がともに12施設と最も多く、次いで「2人」(8施設)などの順となっている。県南西部保健医療圏では「1人」との回答が7施設と最も多く、次いで「4人」(6施設)などの順となっている。うち理学療法士数は、県南東部保健医療圏では「1人」との回答が16施設と最も多く、次いで「2人」(10施設)などの順となっている。県南西部保健医療圏では「1人」、「3人」との回答がともに6施設と最も多く、次いで「2人」、「6～10人」(ともに4施設)などの順となっている。うち作業療法士数は、県南東部保健医療圏で「1人」との回答が14施設と最も多くなっている。

(11)看護補助者数

【看護補助者数】

		(施設)		
看護補助者数		1人	2人	3人以上
全体 n= 20		14	1	5
保健医療圏別	県南東部保健医療圏 n= 14	9	1	4
	県南西部保健医療圏 n= 4	3	-	1
	高梁・新見保健医療圏 n= 2	2	-	-
	真庭保健医療圏 n= 0	-	-	-
	津山・英田保健医療圏 n= 0	-	-	-

※無回答を除いて集計

看護補助者数について、「1人」との回答が14施設と多く、「3人以上」（5施設）、「2人」（1施設）となっている。

(12)介護支援専門員(実務者)数

【介護支援専門員(実務者)数】

		(施設)		
介護支援専門員(実務者)数		1人	2人	3人以上
全体 n= 6		3	-	3
保健医療圏別	県南東部保健医療圏 n= 5	2	-	3
	県南西部保健医療圏 n= 0	-	-	-
	高梁・新見保健医療圏 n= 1	1	-	-
	真庭保健医療圏 n= 0	-	-	-
	津山・英田保健医療圏 n= 0	-	-	-

※無回答を除いて集計

介護支援専門員（実務者）数について、「1人」、「3人以上」との回答がともに3施設となっている。

(13)相談支援専門員数

【相談支援専門員数】

		(施設)		
相談支援専門員数		1人	2人	3人以上
全体 n= 3		1	2	-
保健医療圏別	県南東部保健医療圏 n= 3	1	2	-
	県南西部保健医療圏 n= 0	-	-	-
	高梁・新見保健医療圏 n= 0	-	-	-
	真庭保健医療圏 n= 0	-	-	-
	津山・英田保健医療圏 n= 0	-	-	-

※無回答を除いて集計

相談支援専門員数について、「2人」との回答が2施設、「1人」との回答が1施設となっている。

(14)医療的ケア児等コーディネーター数

【医療的ケア児等コーディネーター数】

		(施設)		
医療的ケア児等 コーディネーター数		1人	2人	3人以上
全体 n= 8		3	4	1
保健医療圏別	県南東部保健医療圏 n= 5	1	3	1
	県南西部保健医療圏 n= 2	2	-	-
	高梁・新見保健医療圏 n= 0	-	-	-
	真庭保健医療圏 n= 0	-	-	-
	津山・英田保健医療圏 n= 1	-	1	-

※無回答を除いて集計

医療的ケア児等コーディネーター数について、「2人」との回答が4施設、「1人」との回答が3施設、「3人以上」との回答が1施設となっている。

4 日常の療養支援

<医療保険による訪問看護の実施>

(令和8年1月の1ヶ月間分)

【実利用者数 年齢階級別】

(人/月)

保健医療圏	総数	0～14歳	15～39歳	40～64歳	65～74歳	75歳以上
全体	6684	750	1052	1889	853	1926
県南東部	4430	395	795	1421	537	1114
県南西部	1934	345	232	385	254	672
高梁・新見	74	2	4	7	15	46
真庭	25	1	1	3	4	16
津山・英田	221	7	20	73	43	78

※総数未記入、内訳未記入の回答があるため総数との相違が生じている

医療保険による訪問看護の実施状況について、実利用者数を年齢階級別にみると、「75歳以上」が28.8%と最も高く、次いで「40～64歳」(28.3%)などの順となっている。

保健医療圏別にみると、県南東部保健医療圏は「40～64歳」が32.1%と最も高くなっている。それ以外の保健医療圏では「75歳以上」が最も高く、県南西部、津山・英田保健医療圏で3割台半ば、高梁・新見、真庭保健医療圏で6割台前半となっている。

【延べ回数 年齢階級別】

(回/月)

保健医療圏	総数	0～14歳	15～39歳	40～64歳	65～74歳	75歳以上
全体	209564	4048	8516	54092	50974	98959
県南東部	37683	2219	3753	14800	5880	19114
県南西部	170174	1779	4676	38836	44822	79002
高梁・新見	384	22	18	20	114	211
真庭	155	2	2	18	17	116
津山・英田	1168	26	67	418	141	516

※総数未記入、内訳未記入の回答があるため総数との相違が生じている

延べ回数を年齢階級別にみると、「75歳以上」が47.2%と最も高くなっている。

保健医療圏別にみると、すべての保健医療圏で「75歳以上」が最も高くなっており、県南東部、高梁・新見保健医療圏で5割台、県南西部、津山・英田保健医療圏で4割台、真庭保健医療圏で7割台半ばとなっている。

【実利用者数 要介護度別】

(人/月)

保健医療圏	要支援1	要支援2	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5
全体	124	235	415	474	372	404	362
県南東部	69	125	259	295	219	216	203
県南西部	47	103	116	148	133	168	135
高梁・新見	5	7	17	11	10	10	11
真庭	1	－	3	4	2	－	－
津山・英田	2	－	20	16	8	10	13

※総数未記入、内訳未記入の回答があるため総数との相違が生じている

実利用者数を要介護度別にみると、「要介護2」が19.9%と最も高くなっている。

保健医療圏別にみると、「要介護1」は高梁・新見保健医療圏で2割台前半、津山・英田保健医療圏で2割台後半、「要介護2」は県南東部保健医療圏で2割台前半、「要介護4」は県南西部保健医療圏で約2割となっている。

【延べ回数 要介護度別】

(回/月)

保健医療圏	要支援1	要支援2	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5
全体	556	1388	2721	4092	4555	4864	5932
県南東部	311	725	1744	2503	3063	3224	3957
県南西部	215	640	736	1409	1364	1517	1821
高梁・新見	14	23	80	53	59	30	61
真庭	2	－	14	21	4	－	－
津山・英田	14	－	147	106	65	93	93

※総数未記入、内訳未記入の回答があるため総数との相違が生じている

延べ回数を要介護度別にみると、「要介護5」が24.6%と最も高くなっている。

保健医療圏別にみると、「要介護1」は高梁・新見保健医療圏で2割台半ば、津山・英田保健医療圏で2割台後半、「要介護2」は真庭保健医療圏で5割台前半、「要介護5」は県南東部保健医療圏で2割台半ば、県南西部保健医療圏で2割台前半となっている。

【実利用者数 厚生労働大臣が定める疾患等・その他加算】

(人/月)

保健医療圏	厚生労働大臣が定める疾患等(別表第7)の実施状況	厚生労働大臣が定める状態等(別表第8)の実施状況	乳幼児加算(訪問看護基本療養費)	精神科訪問看護基本療養費	難病等複数回訪問加算	長時間訪問看護加算	看護・介護職員連携強化加算
全体	1411.92	1026.09	252	2452	630	114	1
県南東部	840.92	512.09	195	1968	366	76	-
県南西部	481	447	52	381	241	34	1
高梁・新見	11	8	2	3	1	1	-
真庭	5	2	-	2	-	-	-
津山・英田	74	57	3	98	22	3	-

※総数未記入、内訳未記入の回答があるため総数との相違が生じている

厚生労働大臣が定める疾患等・その他加算について、実利用者数をみると、「厚生労働大臣が定める疾患等の実施状況」は 2438.01 人、「乳幼児加算」は 252 人、「精神科訪問看護基本療養費」は 2452 人、「難病等複数回訪問加算」は 630 人、「長時間訪問看護加算」は 114 人となっている。

保健医療圏別にみると、「厚生労働大臣が定める疾患等の実施状況」は県南東部保健医療圏で 1353.01 人、県南西部保健医療圏で 928 人、津山・英田保健医療圏で 131 人となっている。

【延べ回数 厚生労働大臣が定める疾患等・その他加算】

(回/月)

保健医療圏	厚生労働大臣が定める疾患等(別表第7)の実施状況	厚生労働大臣が定める状態等(別表第8)の実施状況	乳幼児加算(訪問看護基本療養費)	精神科訪問看護基本療養費	難病等複数回訪問加算	長時間訪問看護加算	看護・介護職員連携強化加算
全体	22281	11483	1471	11022	6719	341	1
県南東部	15088	7002	1233	8737	4290	242	-
県南西部	6604	3924	213	1987	2313	92	1
高梁・新見	67	55	22	9	3	1	-
真庭	25	3	-	-	-	-	-
津山・英田	497	499	3	289	113	6	-

※総数未記入、内訳未記入の回答があるため総数との相違が生じている

延べ回数をみると、「厚生労働大臣が定める疾患等の実施状況」は 33764 回、「乳幼児加算」は 1471 回、「精神科訪問看護基本療養費」は 11022 回、「難病等複数回訪問加算」は 6719 回、「長時間訪問看護加算」は 341 回となっている。

保健医療圏別にみると、「厚生労働大臣が定める疾患等の実施状況」は県南東部保健医療圏で 22090 回、県南西部保健医療圏で 10528 回、高梁・新見保健医療圏で 122 回、真庭保健医療圏で 28 回、津山・英田保健医療圏で 996 回となっている。

<介護保険による訪問看護の実施>

(令和 8 年 1 月の 1 ヶ月間分)

【実利用者数 年齢階級別】

(人/月)

保健医療圏	総数	40～64歳	65～74歳	75歳以上
全体	7686	278	829	6075
県南東部	4334	150	464	3397
県南西部	2724	116	304	2148
高梁・新見	152	3	19	130
真庭	69	–	3	41
津山・英田	407	9	39	359

※総数未記入、内訳未記入の回答があるため総数との相違が生じている

介護保険による訪問看護の実施状況について、実利用者数を年齢階級別にみると、「75 歳以上」が 79.0%と最も高くなっている。

保健医療圏別にみると、すべての保健医療圏で「75 歳以上」が最も高くなっており、県南東部、県南西部保健医療圏で 7 割台後半、高梁・新見、津山・英田保健医療圏で 8 割台、真庭保健医療圏で約 6 割となっている。

【延べ回数 年齢階級別】

(回/月)

保健医療圏	総数	40～64歳	65～74歳	75歳以上
全体	391806	26253	82645	92755
県南東部	35520	2353	10470	53892
県南西部	353244	23839	71837	36271
高梁・新見	737	17	97	623
真庭	287	–	15	175
津山・英田	2018	44	226	1794

※総数未記入、内訳未記入の回答があるため総数との相違が生じている

延べ回数を年齢階級別にみると、「75 歳以上」が 23.7%と最も高く、次いで「65～74 歳」(21.1%)などの順となっている。

保健医療圏別にみると、県南西部保健医療圏で「65～74 歳」が約 2 割と最も高くなっている。それ以外の保健医療圏では「75 歳以上」が最も高くなっており、高梁・新見、津山・英田保健医療圏では 8 割を超えている。

【実利用者数 要介護度別】

(人/月)

保健医療圏	要支援1	要支援2	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5
全体	468	1050	1772	1858	1166	976	822
県南東部	237	423	899	934	604	483	456
県南西部	190	567	693	782	485	411	300
高梁・新見	10	16	45	35	21	16	14
真庭	5	11	13	14	10	9	5
津山・英田	26	33	122	93	46	57	47

※総数未記入、内訳未記入の回答があるため総数との相違が生じている

実利用者数を要介護度別にみると、「要介護2」が22.9%と最も高く、次いで「要介護1」(21.8%)などの順となっている。

保健医療圏別にみると、「要介護1」は高梁・新見、津山・英田保健医療圏で2割台後半、「要介護2」は県南東部、県南西部保健医療圏で2割台前半、真庭保健医療圏で約2割となっている。

【延べ回数 要介護度別】

(回/月)

保健医療圏	要支援1	要支援2	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5
全体	1902	5671	9452	11726	8789	7749	9246
県南東部	1099	2669	5413	6631	5556	5334	6871
県南西部	667	2755	3245	4353	2780	2034	2011
高梁・新見	36	71	157	213	139	52	69
真庭	15	42	51	53	67	46	27
津山・英田	85	134	586	476	247	283	268

※総数未記入、内訳未記入の回答があるため総数との相違が生じている

延べ回数を要介護度別にみると、「要介護2」が21.5%と最も高くなっている。

保健医療圏別にみると、「要介護1」は津山・英田保健医療圏で2割台後半、「要介護2」は県南西部保健医療圏で2割台半ば、高梁・新見保健医療圏で2割台後半、「要介護3」は真庭保健医療圏で2割台前半、「要介護5」は県南東部保健医療圏で約2割となっている。

【実利用者数 長時間訪問看護加算・看護介護職員連携強化加算】

(人/月)

保健医療圏	長時間訪問看護加算	看護・介護職員連携強化加算
全体	21	1
県南東部	16	－
県南西部	5	1
高梁・新見	－	－
真庭	－	－
津山・英田	－	－

長時間訪問看護加算・看護介護職員連携強化加算の実利用者数をみると、「長時間訪問看護加算」が21人、「看護・介護職員連携強化加算」が1人となっている。

保健医療圏別にみると、「長時間訪問看護加算」は県南東部保健医療圏で16人となっている。

【延べ回数 長時間訪問看護加算・看護介護職員連携強化加算】

(回/月)

保健医療圏	長時間訪問看護加算	看護・介護職員連携強化加算
全体	58	1
県南東部	40	－
県南西部	18	1
高梁・新見	－	－
真庭	－	－
津山・英田	－	－

延べ回数をみると、「長時間訪問看護加算」が58回、「看護・介護職員連携強化加算」が1回となっている。

保健医療圏別にみると、「長時間訪問看護加算」は県南東部保健医療圏で40回となっている。

5 緊急時の訪問看護（令和8年1月の1ヶ月間）

(1) 24時間対応体制加算（訪問看護管理療養費） 実算定者数

【24時間対応体制加算（訪問看護管理療養費） 実算定者数】

		(施設)					
24時間対応体制加算 (訪問看護管理療養費) 実算定者数		1 ～ 5 人	6 ～ 10 人	11 ～ 20 人	21 ～ 30 人	31 人 以上	無 回 答
全体 n= 169		27	40	28	20	24	30
保 健 医 療 圏 別	県南東部保健医療圏 n= 95	11	23	13	15	16	17
	県南西部保健医療圏 n= 52	9	9	13	4	7	10
	高梁・新見保健医療圏 n= 6	2	2	—	—	—	2
	真庭保健医療圏 n= 4	1	2	—	—	—	1
	津山・英田保健医療圏 n= 12	4	4	2	1	1	—

24時間対応体制加算（訪問看護管理療養費）実算定者数について、「6～10人」との回答が40施設と最も多く、次いで「11～20人」（28施設）、「1～5人」（27施設）、「31人以上」（24施設）などの順となっている。

保健医療圏別にみると、県南東部保健医療圏では「6～10人」との回答が23施設と最も多く、次いで「31人以上」（16施設）、「21～30人」（15施設）などの順となっている。県南西部保健医療圏では「11～20人」との回答が13施設と最も多く、次いで「1～5人」、「6～10人」（9施設）などの順となっている。

(2) 緊急訪問看護加算（医療保険） 実算定者数

【緊急訪問看護加算（医療保険） 実算定者数】

		(施設)					
緊急訪問看護加算 (医療保険) 実算定者数		1 人	2 人	3 人	4 ～ 5 人	6 人 以上	無 回 答
全体 n= 169		20	10	10	10	13	106
保 健 医 療 圏 別	県南東部保健医療圏 n= 95	11	7	4	5	8	60
	県南西部保健医療圏 n= 52	8	2	4	5	5	28
	高梁・新見保健医療圏 n= 6	—	—	—	—	—	6
	真庭保健医療圏 n= 4	1	—	—	—	—	3
	津山・英田保健医療圏 n= 12	—	1	2	—	—	9

緊急訪問看護加算（医療保険）実算定者数について、「1人」との回答が20施設と多く、次いで「6人以上」（13施設）、「2人」、「3人」、「4～5人」（いずれも10施設）の順となっている。

保健医療圏別にみると、県南東部保健医療圏では「1人」との回答が11施設と多く、次いで「6人以上」（8施設）、「2人」（7施設）などの順となっており、県南西部保健医療圏では「1人」との回答が8施設と多く、次いで「4～5人」、「6人以上」（5施設）などの順となっている。

(3)緊急時訪問看護加算Ⅰ（介護保険） 実算定者数

【緊急時訪問看護加算Ⅰ（介護保険） 実算定者数】

		(施設)					
緊急時訪問看護加算Ⅰ (介護保険) 実算定者数		1 5 1 0 人	1 1 5 2 0 人	2 1 5 3 0 人	3 1 5 5 0 人	5 1 人 以 上	無 回 答
全体 n= 169		11	13	23	22	17	83
保 健 医 療 圏 別	県南東部保健医療圏 n= 95	5	9	11	12	10	48
	県南西部保健医療圏 n= 52	4	4	5	7	7	25
	高梁・新見保健医療圏 n= 6	1	-	1	-	-	4
	真庭保健医療圏 n= 4	-	-	2	-	-	2
	津山・英田保健医療圏 n= 12	1	-	4	3	-	4

緊急時訪問看護加算Ⅰ（介護保険）実算定者数について、「21～30人」との回答が23施設と多く、次いで「31～50人」（22施設）、「51人以上」（17施設）、「11～20人」（13施設）、「1～10人」（11施設）の順となっている。

保健医療圏別にみると、県南東部保健医療圏では「31～50人」との回答が12施設と多く、次いで「21～30人」（11施設）、「51人以上」（10施設）、「11～20人」（9施設）などの順となっている。県南西部保健医療圏では「31～50人」、「51人以上」との回答がともに7施設と多く、次いで「21～30人」（5施設）などの順となっている。

(4)緊急時訪問看護加算Ⅱ（介護保険） 実算定者数

【緊急時訪問看護加算Ⅱ（介護保険） 実算定者数】

		(施設)					
緊急時訪問看護加算Ⅱ (介護保険) 実算定者数		1 5 1 0 人	1 1 5 2 0 人	2 1 5 3 0 人	3 1 5 5 0 人	5 1 人 以 上	無 回 答
全体 n= 169		17	11	8	5	4	124
保 健 医 療 圏 別	県南東部保健医療圏 n= 95	8	4	4	3	3	73
	県南西部保健医療圏 n= 52	6	6	-	2	1	37
	高梁・新見保健医療圏 n= 6	2	-	1	-	-	3
	真庭保健医療圏 n= 4	1	-	-	-	-	3
	津山・英田保健医療圏 n= 12	-	1	3	-	-	8

緊急時訪問看護加算Ⅱ（介護保険）実算定者数について、「1～10人」との回答が17施設と多く、次いで「11～20人」（11施設）、「21～30人」（8施設）、「31～50人」（5施設）、「51人以上」（4施設）の順となっている。

保健医療圏別にみると、県南東部保健医療圏では「1～10人」との回答が8施設と多く、次いで「11～20人」、「21～30人」（ともに4施設）などの順となっており、県南西部保健医療圏では「1～10人」、「11～20人」との回答がともに6施設と多くなっている。

(5)緊急訪問看護加算(医療保険) 算定回数(延べ算定数)

【緊急訪問看護加算(医療保険) 算定回数】

		(施設)					
緊急訪問看護加算 (医療保険) 算定回数 (延べ算定数)		1 回	2 回	3 ～ 4 回	5 ～ 10 回	11 回 以上	無 回 答
全体 n= 169		14	10	16	16	13	100
保 健 医 療 圏 別	県南東部保健医療圏 n= 95	9	4	6	12	6	58
	県南西部保健医療圏 n= 52	5	4	7	2	6	28
	高梁・新見保健医療圏 n= 6	—	—	—	1	—	5
	真庭保健医療圏 n= 4	—	—	1	—	—	3
	津山・英田保健医療圏 n= 12	—	2	2	1	1	6

緊急訪問看護加算(医療保険) 算定回数について、「3～4回」、「5～10回」との回答がともに16施設と多く、次いで「1回」(14施設)、「11回以上」(13施設)、「2回」(10施設)の順となっている。

保健医療圏別にみると、県南東部保健医療圏では「5～10回」との回答が12施設と多く、次いで「1回」(9施設)などの順となっている。県南西部保健医療圏では「3～4回」との回答が7施設と多く、次いで「11回以上」(6施設)などの順となっている。

(6)緊急時訪問看護加算Ⅰ(介護保険) 算定回数(延べ算定数)

【緊急時訪問看護加算Ⅰ(介護保険) 算定回数】

		(施設)					
緊急時訪問看護加算Ⅰ (介護保険) 算定回数 (延べ算定数)		1 回	2 回	3 ～ 4 回	5 ～ 10 回	11 回 以上	無 回 答
全体 n= 169		7	4	4	9	51	94
保 健 医 療 圏 別	県南東部保健医療圏 n= 95	5	3	1	7	25	54
	県南西部保健医療圏 n= 52	2	—	3	1	18	28
	高梁・新見保健医療圏 n= 6	—	—	—	—	2	4
	真庭保健医療圏 n= 4	—	—	—	—	1	3
	津山・英田保健医療圏 n= 12	—	1	—	1	5	5

緊急時訪問看護加算Ⅰ(介護保険) 算定回数について、「11回以上」との回答が51施設と多く、次いで「5～10回」(9施設)、「1回」(7施設)、「2回」、「3～4回」(ともに4施設)の順となっている。

保健医療圏別にみると、県南東部保健医療圏では「11回以上」との回答が25施設と多く、次いで「5～10回」(7施設)などの順となっている。県南西部保健医療圏では「11回以上」との回答が18施設と多くなっている。

(7)緊急時訪問看護加算Ⅱ（介護保険） 算定回数(延べ算定数)

【緊急時訪問看護加算Ⅱ（介護保険） 算定回数】

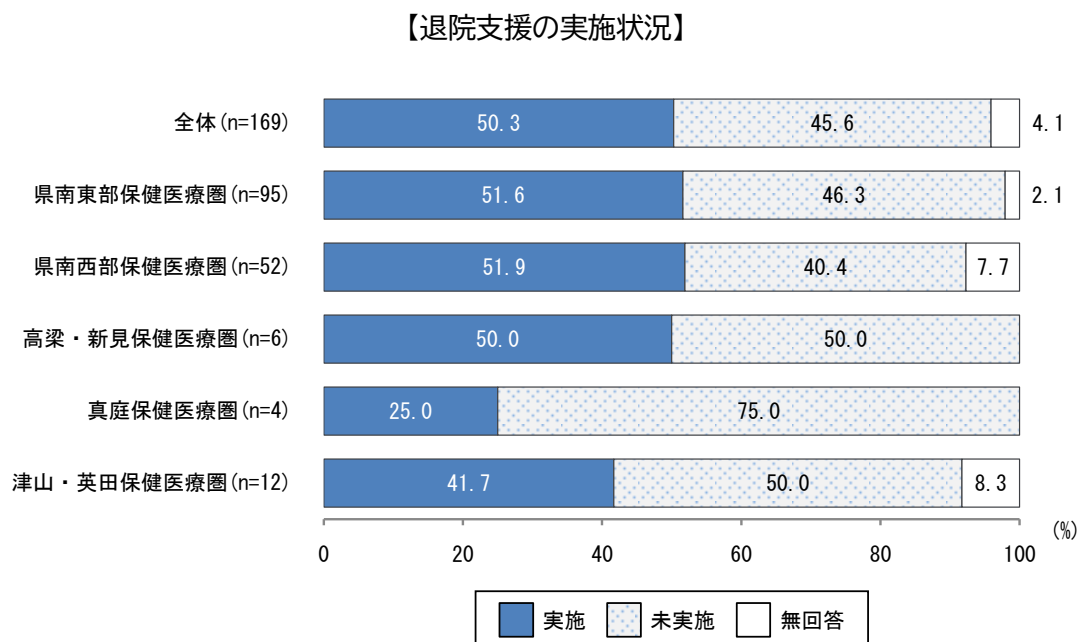
緊急時訪問看護加算Ⅱ （介護保険） 算定回数（延べ算定数）		(施設)					
		1 回	2 回	3 ～ 4 回	5 ～ 10 回	11 回 以上	無 回 答
全体 n= 169		3	4	5	9	17	131
保 健 医 療 圏 別	県南東部保健医療圏 n= 95	2	1	2	5	7	78
	県南西部保健医療圏 n= 52	－	2	2	3	6	39
	高梁・新見保健医療圏 n= 6	1	1	－	1	－	3
	真庭保健医療圏 n= 4	－	－	1	－	－	3
	津山・英田保健医療圏 n= 12	－	－	－	－	4	8

緊急時訪問看護加算Ⅱ（介護保険） 算定回数について、「11 回以上」との回答が 17 施設と多く、次いで「5～10 回」（9 施設）、「3～4 回」（5 施設）、「2 回」（4 施設）、「1 回」（3 施設）の順となっている。

保健医療圏別にみると、県南東部保健医療圏では「11 回以上」との回答が 7 施設と多く、次いで「5～10 回」（5 施設）などの順となっている。県南西部保健医療圏では「11 回以上」との回答が 6 施設と多くなっている。

6 退院支援

(1)退院支援の実施状況



退院支援の実施状況について、「実施」との回答が50.3%、「未実施」との回答が45.6%となっている。保健医療圏別にみると、「実施」との回答は県南東部、県南西部保健医療圏で5割台前半となっている。

(2)退院支援の令和8年1月の1か月間の実算定者数

【退院支援の令和8年1月の1か月間の実算定者数】

		(施設)			
		1人	2 ～ 5人	6人以上	無回答
退院時共同指導加算(介護保険) n= 169		31	11	1	126
保健医療圏別	県南東部保健医療圏 n= 95	17	4	—	74
	県南西部保健医療圏 n= 52	13	4	1	34
	高梁・新見保健医療圏 n= 6	—	1	—	5
	真庭保健医療圏 n= 4	1	—	—	3
	津山・英田保健医療圏 n= 12	—	2	—	10
退院時共同指導加算(医療保険) n= 169		25	10	2	132
保健医療圏別	県南東部保健医療圏 n= 95	13	6	1	75
	県南西部保健医療圏 n= 52	9	4	1	38
	高梁・新見保健医療圏 n= 6	2	—	—	4
	真庭保健医療圏 n= 4	1	—	—	3
	津山・英田保健医療圏 n= 12	—	—	—	12
特別管理指導加算(医療保険) n= 169		14	11	7	137
保健医療圏別	県南東部保健医療圏 n= 95	6	5	5	79
	県南西部保健医療圏 n= 52	6	5	2	39
	高梁・新見保健医療圏 n= 6	1	—	—	5
	真庭保健医療圏 n= 4	—	1	—	3
	津山・英田保健医療圏 n= 12	1	—	—	11
外泊時訪問看護 n= 169		4	—	—	165
保健医療圏別	県南東部保健医療圏 n= 95	1	—	—	94
	県南西部保健医療圏 n= 52	3	—	—	49
	高梁・新見保健医療圏 n= 6	—	—	—	6
	真庭保健医療圏 n= 4	—	—	—	4
	津山・英田保健医療圏 n= 12	—	—	—	12
退院支援指導 n= 169		13	13	1	142
保健医療圏別	県南東部保健医療圏 n= 95	9	8	—	78
	県南西部保健医療圏 n= 52	4	5	1	42
	高梁・新見保健医療圏 n= 6	—	—	—	6
	真庭保健医療圏 n= 4	—	—	—	4
	津山・英田保健医療圏 n= 12	—	—	—	12

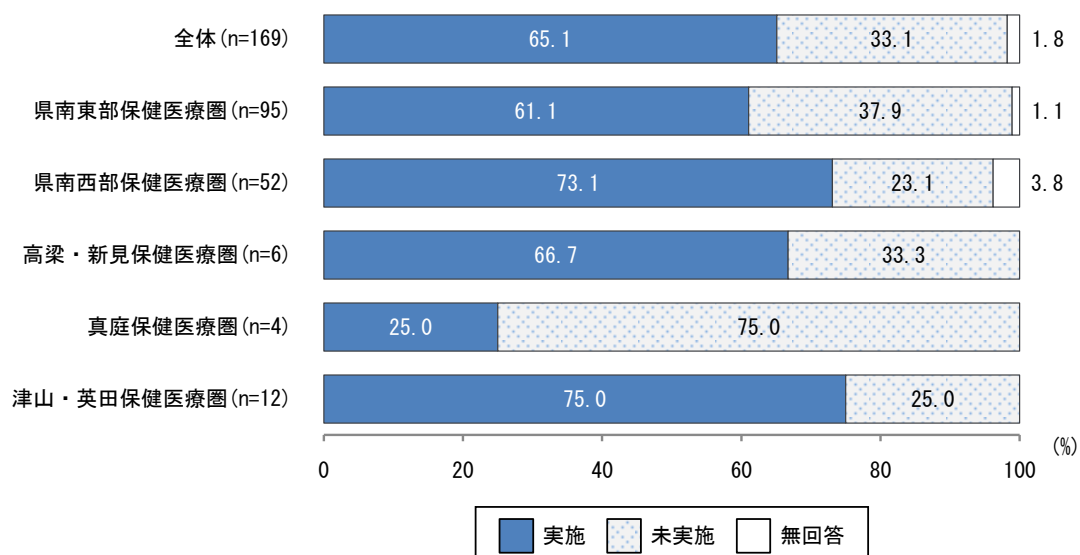
退院支援の実施状況について、退院時共同指導加算（介護保険）実算定者数は、「1人」との回答が31施設と多く、次いで「2～5人」（11施設）となっている。退院時共同指導加算（医療保険）実算定者数は、「1人」との回答が25施設と多く、次いで「2～5人」（10施設）となっている。特別管理指導加算（医療保険）実算定者数は、「1人」との回答が14施設と多く、次いで「2～5人」（11施設）、「6人以上」（7施設）となっている。外泊時訪問看護（訪問看護基本療養費Ⅲ実算定者数）は、「1人」との回答が4施設となっている。退院支援指導（退院支援指導加算実算定者）は、「1人」、「2～5人」との回答がともに13施設となっている。

保健医療圏別にみると、退院時共同指導加算（介護保険）実算定者数は、「1人」との回答が県南東部保健医療圏で17施設、県南西部保健医療圏で13施設となっている。退院時共同指導加算（医療保険）実算定者数は、「1人」との回答が県南東部保健医療圏で13施設、県南西部保健医療圏で9施設となっている。特別管理指導加算（医療保険）実算定者数は、「1人」との回答が県南東部保健医療圏で6施設、県南西部保健医療圏で6施設となっている。

7 看取り

(1)看取り実施状況

【看取り実施状況】



看取り実施状況について、「実施」との回答が65.1%、「未実施」との回答が33.1%となっている。

保健医療圏別にみると、「実施」との回答は県南西部保健医療圏で7割台前半と高く、県南東部保健医療圏で6割台前半と低くなっている。

(2)看取りを実施した実利用者数

【看取りを実施した実利用者数】

		(施設)				
		1人	2人	3～5人	6～10人	11人以上
訪問看護ターミナルケア療養費 実算定者数(医療保険) n= 76		23	12	16	16	9
保健医療圏別	県南東部保健医療圏 n= 39	10	7	8	9	5
	県南西部保健医療圏 n= 28	12	2	5	5	4
	高梁・新見保健医療圏 n= 1	—	1	—	—	—
	真庭保健医療圏 n= 1	—	—	1	—	—
	津山・英田保健医療圏 n= 7	1	2	2	2	—
うち訪問看護ターミナルケア療養費1 n= 67		21	10	12	15	9
保健医療圏別	県南東部保健医療圏 n= 35	10	6	6	8	5
	県南西部保健医療圏 n= 25	10	2	4	5	4
	高梁・新見保健医療圏 n= 1	—	1	—	—	—
	真庭保健医療圏 n= 0	—	—	—	—	—
	津山・英田保健医療圏 n= 6	1	1	2	2	—
うち訪問看護ターミナルケア療養費2 n= 9		5	2	1	—	1
保健医療圏別	県南東部保健医療圏 n= 3	2	—	1	—	—
	県南西部保健医療圏 n= 5	3	1	—	—	1
	高梁・新見保健医療圏 n= 0	—	—	—	—	—
	真庭保健医療圏 n= 0	—	—	—	—	—
	津山・英田保健医療圏 n= 1	—	1	—	—	—
ターミナルケア加算実算定者数 (介護保険) n= 58		31	7	17	2	1
保健医療圏別	県南東部保健医療圏 n= 29	15	3	10	1	—
	県南西部保健医療圏 n= 19	9	3	5	1	1
	高梁・新見保健医療圏 n= 3	3	—	—	—	—
	真庭保健医療圏 n= 1	1	—	—	—	—
	津山・英田保健医療圏 n= 6	3	1	2	—	—

※無回答を除いて集計

看取りを実施した実利用者数について、訪問看護ターミナルケア療養費実算定者数(医療保険)は、「1人」との回答が23施設と多く、次いで「3～5人」、「6～10人」(ともに16施設)、「2人」(12施設)、「11人以上」(9施設)の順となっている。うち訪問看護ターミナルケア療養費1実算定者数は、「1人」との回答が21施設と多く、次いで「6～10人」(15施設)、「3～5人」(12施設)、「2人」(10施設)、「11人以上」(9施設)の順となっている。うち訪問看護ターミナルケア療養費2実算定者数は、「1人」との回答が5施設と多く、次いで「2人」(2施設)、「3～5人」、「11人以上」(ともに1施設)の順となっている。ターミナルケア加算実算定者数(介護保険)は、「1人」との回答が31施設と多く、「3～5人」(17施設)、「2人」(7施設)などの順となっている。

保健医療圏別にみると、訪問看護ターミナルケア療養費実算定者数(医療保険)は、県南東部保健医療圏で「1人」との回答が10施設と多く、次いで「6～10人」9施設などの順となっており、県南西部保健医療圏で「1人」との回答が12施設と多くなっている。うち訪問看護ターミナルケア療養費1実算定者数は、「1人」との回答が県南東部、県南西部保健医療圏でともに10施設と多くなっている。ターミナルケア加算実算定者数(介護保険)は、県南東部保健医療圏で「1人」との回答が15施設と多く、次いで「3～5人」(10施設)などの順となっており、県南西部保健医療圏で「1人」との回答が9施設と多くなっている。

8 訪問看護の多機能化、地域連携の状況

(1) 居住系施設・通所介護との委託契約数

【居住系施設・通所介護との委託契約数】

		(施設)		
		1 件	2 ～ 5 件	6 件 以上
居住系施設・通所介護との委託契約数 n= 24		11	11	2
保健医療圏別	県南東部保健医療圏 n= 16	7	7	2
	県南西部保健医療圏 n= 4	3	1	—
	高梁・新見保健医療圏 n= 1	1	—	—
	真庭保健医療圏 n= 0	—	—	—
	津山・英田保健医療圏 n= 3	—	3	—
うち小規模多機能型居宅介護事業所 n= 6		3	1	2
保健医療圏別	県南東部保健医療圏 n= 6	3	1	2
	県南西部保健医療圏 n= 0	—	—	—
	高梁・新見保健医療圏 n= 0	—	—	—
	真庭保健医療圏 n= 0	—	—	—
	津山・英田保健医療圏 n= 0	—	—	—
うち看護小規模多機能型居宅介護事業所 n= 6		5	—	1
保健医療圏別	県南東部保健医療圏 n= 4	4	—	—
	県南西部保健医療圏 n= 2	1	—	1
	高梁・新見保健医療圏 n= 0	—	—	—
	真庭保健医療圏 n= 0	—	—	—
	津山・英田保健医療圏 n= 0	—	—	—

※無回答を除いて集計

居住系施設・通所介護との委託契約数について、「1件」、「2～5件」との回答がともに11施設、次いで「6件以上」（2施設）となっている。うち小規模多機能型居宅介護事業所は、「1件」との回答が3施設、次いで「6件以上」（2施設）、「2～5件」（1施設）となっている。うち看護小規模多機能型居宅介護事業所は、「1件」との回答が5施設、次いで「6件以上」（1施設）となっている。

(2) 遠隔死亡診断補助加算算定のための研修受講者

【遠隔死亡診断補助加算算定のための研修受講者】

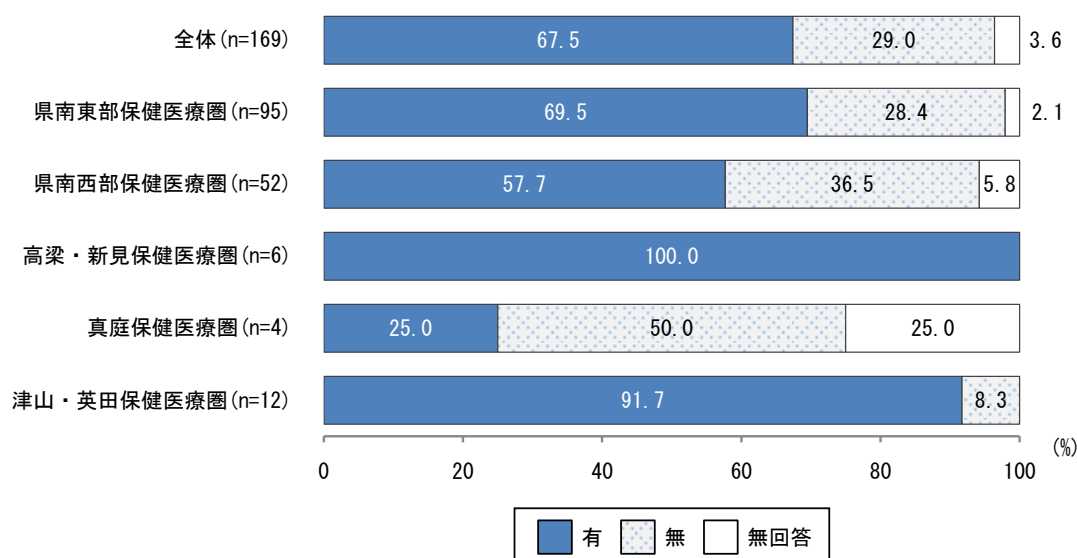
		(施設)		
		1 人	2 ～ 5 人	6 人 以上
遠隔死亡診断補助加算算定のための研修受講者 n= 7		6	1	—
保健医療圏別	県南東部保健医療圏 n= 5	4	1	—
	県南西部保健医療圏 n= 1	1	—	—
	高梁・新見保健医療圏 n= 0	—	—	—
	真庭保健医療圏 n= 0	—	—	—
	津山・英田保健医療圏 n= 1	1	—	—

※無回答を除いて集計

遠隔死亡診断補助加算算定のための研修受講者について、「1人」との回答が6施設、次いで「2～5人」（1施設）となっている。

(3) 会議・地域の多職種連携への ICT 活用

【ICT 活用の有無】



ICT 活用の有無について、「有」との回答が 67.5%、「無」との回答が 29.0%となっている。

保健医療圏別にみると、「有」との回答は県南東部保健医療圏で約 7 割と高く、県南西部保健医療圏で 5 割台後半と低くなっている。

【活用している ICT の種類】

			M C S	ケ ア キ ャ ビ ネ ット	カ ナ ミ ツ ク	チャ ット	バイ タル リン ク	L I N E	そ の 他	無 回 答
全体		n= 114	75.4	21.1	13.2	11.4	6.1	40.4	23.7	0.9
保 健 医 療 圏 別	県南東部保健医療圏	n= 66	84.8	7.6	4.5	15.2	1.5	40.9	25.8	1.5
	県南西部保健医療圏	n= 30	80.0	46.7	6.7	10.0	20.0	36.7	10.0	—
	高梁・新見保健医療圏	n= 6	33.3	33.3	—	—	—	33.3	33.3	—
	真庭保健医療圏	n= 1	—	—	—	—	—	100.0	100.0	—
	津山・英田保健医療圏	n= 11	36.4	27.3	90.9	—	—	45.5	36.4	—

活用している ICT の種類について、「MCS」との回答が 75.4%と最も高く、次いで「LINE」(40.4%)、「ケアキャビネット」(21.1%)、「カナミック」(13.2%)などの順となっている。

保健医療圏別にみると、「MCS」との回答は県南東部、県南西部保健医療圏で 8 割台、「ケアキャビネット」との回答は県南西部保健医療圏で 4 割台後半と高くなっている。

(4)訪問看護情報提供療養費実算定者数

(令和7年1月～12月の1年間)

【訪問看護情報提供療養費実算定者数】

			10人未満	11～30人	31～100人	101人以上	(施設)
			人	人	人	人	以上0人
うち療養費1		n= 75	30	18	6	5	16
保健医療圏別	県南東部保健医療圏	n= 42	12	11	5	3	11
	県南西部保健医療圏	n= 25	12	5	1	2	5
	高梁・新見保健医療圏	n= 1	—	1	—	—	—
	真庭保健医療圏	n= 1	1	—	—	—	—
	津山・英田保健医療圏	n= 6	5	1	—	—	—
うち療養費2		n= 5	3	1	—	—	1
保健医療圏別	県南東部保健医療圏	n= 2	1	1	—	—	—
	県南西部保健医療圏	n= 3	2	—	—	—	1
	高梁・新見保健医療圏	n= 0	—	—	—	—	—
	真庭保健医療圏	n= 0	—	—	—	—	—
	津山・英田保健医療圏	n= 0	—	—	—	—	—
うち療養費3		n= 17	14	3	—	—	—
保健医療圏別	県南東部保健医療圏	n= 9	6	3	—	—	—
	県南西部保健医療圏	n= 7	7	—	—	—	—
	高梁・新見保健医療圏	n= 0	—	—	—	—	—
	真庭保健医療圏	n= 0	—	—	—	—	—
	津山・英田保健医療圏	n= 1	1	—	—	—	—

※無回答を除いて集計

訪問看護情報提供療養費実算定者数について、うち療養費1は、「1～10人」との回答が30施設と多く、次いで「11～30人」(18施設)、「100人以上」(16施設)などの順となっている。うち療養費2は、「1～10人」との回答が3施設と多く、次いで「11～30人」、「100人以上」(ともに1施設)となっている。うち療養費3は、「1～10人」との回答が14施設と多く、次いで「11～30人」(3施設)となっている。

保健医療圏別にみると、うち療養費1は、県南東部保健医療圏で「1～10人」との回答が12施設と多く、次いで「11～30人」、「100人以上」(ともに11施設)、県南西部保健医療圏で「1～10人」との回答が12施設と多くなっている。